

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 112

平成 30 年 3 月号

〒810-0001

福岡市中央区天神 1-10-1

福岡市役所北別館 6 階

TEL : 092-733-5707

FAX : 092-733-5680

e-mail : library@urc.or.jp

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

タイトルバック：琴性根氏（釜山発展研究院）撮影

◆URC資料室ニュース

①第4回ナレッジコミュニティ：「福岡の多文化共創社会を考える

—地域と外国人留学生在が Win-Win の関係になるために—を開催しました！

都市政策資料室では、平成 30 年 2 月 28 日水曜日 URC 会議室を会場に、柳基憲研究主査を講師に標記のナレッジコミュニティを開催しました。

福岡市に住んでいる外国人の数は、平成 30 年 1 月末現在 3 万 5 千人を超えています。外国人人口の増加の背景には、福岡市の住みやすさと多様な教育機関を求めて訪れる外国人留学生の増加があります。福岡市の外国人

10 人のうち 3 人は市内の大学、専門学校などの教育機関に在籍している留学生であり、今後もその数は増加すると思われていますが、数は増えても主に言葉の壁で母国の友人とのみ接触し、地域から孤立している状況は変わっておらず、このような現実が外国人高度人材の集積を難しくしている現状が報告されました。

柳研究主査はこのような状況を踏まえ、「多文化共生」をさらに押し進めた「多文化共創」を提案し、地域と外国人留学生在が Win-Win の関係を構築する目的で始めた CIP (Creative Interchange Platform) の活動を詳しく紹介しましたが、この活動は昨年末で一時休止しています。

質疑応答では、会場からの活動休止を惜しむ質問に丁寧に答えながら、「本年 4 月以降 CIP の事業をソーシャルビジネスとして企業化して推し進める」ことを公表し、会場の皆さまは安どし、活動を応援したい気持ちになられたようで、終了後も、柳研究主査の周りには多くの人



URC 資料室だより NO. 112 (H30.3)

の輪が絶えませんでした。

アンケートでは、講演を聞かれたほとんどの方が「大変有意義だった」と回答され、主催者として大変嬉しく、改めて柳研究主査の研究だけではない活動の素晴らしさを再認識させられました。

※「多文化共創」は多文化の人々の協働により、地域に社会的・経済

②2017 アジア都市景観賞受賞地域のポスター展 開催中

2017年アジア都市景観賞授賞式が、2017年9月28日～29日に中国の銀川市で行われ、今年度は、8か国から53件のエントリーがあり、その中からアジア都市景観賞13件、アジア都市景観賞審査員賞2件の計15件が表彰されました。

この度、アジア都市景観賞の事業を広く知っていただくため、また、資料室のPRのため、受賞地域(下記15件)のポスター展を開催しています。この機会にご覧くださいましたら幸いです。

○本年度授賞地域

*日本 4件

【アジア都市景観賞】

千葉県柏市、群馬県草津町、奈良県十津川村、大分県豊後高田市

*海外 11件

◆URCニュース

①平成29年度市民研究員研究成果発表会を開催します！

「住んで、来て、楽しい福岡の街づくり」～ポテンシャルを生かした新しい福岡の魅力づくり～を共通テーマに、平成29年度5名の市民研究員は、昨年の7月に調査や研究を開始しました。福岡市の職員やURCの研究員から都市政策についてのレクチャーを受け、現地調査、アンケート調査、資料収集等悪戦苦闘しながらも研究活動を進めてきました。この度、ようやく市民の皆様へ研究成果を発表できる運びとなり、市民にとって楽しく、外来者にとっても楽しくなるような福岡の街づくりはどうあるべきなのか、各自の研究テーマに基づいて発表を行います。

皆様のご参加を心よりお待ちしておりますとともに、周囲の皆様へのお知らせやお誘いを頂きますようお願い申し上げます。

日 時 平成30年3月11日(日)
13:30～16:15(開場13:00)

会 場 アクロス福岡 6階 606会議室
(福岡市中央区天神1-1-1)

個別研究テーマ

※氏名五十音順。当日の発表順ではありません。

『福岡の街がワクワクする未来型スタジアムに関する研究』… 谷脇 良也

的な価値を創出するという概念であり、例えば、元留学生の就労や起業は、地域に経済的価値をもたらし、また、多様な国からの留学生との交流は地域の人々に多文化の人々と生きる知恵という社会的価値を生み出しています。

写真：URC 撮影(山崎三枝 司書)



【アジア都市景観賞】韓国 釜山市、全州市、ソウル市
中国 佛山市、靈武市、普洱市
インド プネ市、ベトナム タムキー市
インドネシア バンジャルマシ市

【アジア都市景観賞 審査員賞】

中国 海南省澄邁県、インド スラット市

写真：URC 撮影(山崎三枝 司書)

『ムスリムの人々も気軽に訪れ、ともに暮らせる街づくりにむけた研究』… 弥栄 睦子
『「コンパクトな立地」にポイントを置いた「利便性」の高い街づくり』… 三毛 陽一郎
『「働き方と働く場」ライフステージを想定した就業支援の研究』… 矢野 裕樹
『住んで、来て、楽しい福岡「市街化調整区域」のまちづくり』… 山崎 敬太

申込み 平成30年3月8日(木)まで 定員50名
(申込み先着順) **参加無料**

下記を明記のうえ、Eメール又はFAXにて、福岡アジア都市研究所までお申込み下さい。

- (1)「市民研究員発表会(3月11日)」参加希望
- (2)参加希望者の《氏名・ふりがな》《電話番号》《メールアドレス》

申込み・問合せ先

公益財団法人福岡アジア都市研究所

(担当：嶋岡、茅野)

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1

福岡市役所北別館6階

TEL:(092)733-5687 FAX:(092)733-5680

E-mail:shimin@urc.or.jp

(嶋岡和久 主任研究員)

②第5回市民フォーラム

「古典から見た歴史景観 ～鴻臚館・福岡城下の昔と今 そして未来～」が開催されます！

URCが構成団体の一つを務める福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略事業実行委員会が、3月22日（木曜日）13:30 から 16:30 まで「第5回 市民フォーラム 2017年度 古典から見た歴史景観 ～鴻臚館・福岡城下の昔と今 そして未来～」を福岡市中央市民センターホール（福岡市中央区赤坂2-5-8 地下鉄赤坂駅から徒歩5分）で開催します。

「古典からみた歴史景観という新鮮な切り口で、往事を偲びながら鴻臚館・福岡城に対する市民の関心を高める。合わせて「福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略事業」の3年間の事業報告を行う。」という開催趣旨に基づき、上野 誠・奈良大学文学部教授に「万葉の月、鴻臚の秋」、高山英朗・福岡市博物館学芸員に「筑前国福岡城下見聞記」と題し講演していただきます。

その後、石井幸孝・実行委員会委員長から「鴻臚館・福岡城 昔と今 そして未来」と題し、観光都市戦略事業の3年間の成果について報告していただくとともに、講

③国際研修受入報告

2018年1月、2月の2ヶ月間、韓国から2団体（春海保険大学、ソウル大学保健大学院）、中国から2団体（中国人民健康保険公司、さくらサイエンス訪問団）、タイから1団体（タイ王国キング・プラジャーティポック研究所）、合計3ヶ国、5団体、延べ人数95名が福岡市の様々な取り組みを学ぶため来福しました。



中国人民健康保険公司 場所: 福岡市市民福祉プラザ

視察は、福岡市民防災センター、福岡市市民福祉プラザ、福岡市アイランドシティ（福岡市青果市場）などで実施

師のお二人を交えてトークをしていただきます。

詳しくは、URC入り口そばのパンフレットボックスや資料室でチラシを布置していますので、ご覧ください。

お申込は、実行委員会事務局までメール

(info@fukuoka-oshiro.com) または、ファックス (092-716-8254) で、URCではありません。

お問い合わせは、お電話 (092-716-8238) ください。

定員は400名、ご参加は無料です。

多くのご参加をお待ちしています。

(中沢 浩 副理事長)



タイ王国キング・プラジャーティポック研究所
福岡市アイランドシティ事業概要について説明

されました。各視察団は、福岡市と自国の取り組みを比較しながら、各々の研修内容を一所懸命聞いていました。

3月以降の福岡市国際視察研修プログラムに関するお問い合わせも、増えてきています。各国のお役に立てるように、福岡市の先進的な取り組みを紹介していきたいと思えます。福岡市国際視察研修の受入窓口はURCとなっておりますので、多くの申込をお待ちしております。

写真:URC 撮影(李英雄 国際視察研修担当)

◆特別寄稿 *一人一花の楽しみ* 第1回 チューリップ

福岡市が提唱する一人一花運動、157万人の市民が一花を育てると福岡は157万本の花溢れるフラワーシティになる！なんと、凄い戦略だと驚いた。

それはともかく、花好きさんもそうでない人も、まちも人も暮らしも笑顔にする不思議な力が花に潜んでいることは確かな真実であり、花を介して誰もが心優しく仲良くなれる緩やかなスパークジョイをご紹介します。

今回は世の東西、老若男女を問わず、春の代表的な花として知られる、チューリップにフォーカス。ユリ科チューリップ属、原産地はトルコ(中東アジア)16世紀オランダ黄金期にはチューリップバブルと騒がれ話題の取引商材でもあった。全体の花言葉は博愛、個々の花にも其々



清流公園川沿花風景

の花言葉を持つ。花種は数千種、花色、花咲も多種多様。身近で育て易い春の代表花。



博多駅前広場

1学年の終わりに鉢植えや花壇にチューリップの球根を植え、新一年生を迎える体験学習は今も小学校で継続中。花期は2週間程度だが早咲

き遅咲きを使えば3月～4月まで楽しめる。球根は10月～12月に水はけの良い土に球根の前後の向きを揃えて植える。植えて2週間程度は乾燥に注意し、芽が出て液肥を月2回ほど施す。せっかちさんはお店で鉢植えや切り花を買ってマイフラワー、ギフトフラワーで楽しむのもお勧め。りっぱな一花参加。

春のチューリップ祭は、花観光の筆頭格として万人を楽しませてくれる。福岡市では今年も博多駅から天神までを花でつなぐ「福博花しるベチューリップロード」が3月中旬～下旬スタート。通りは7万本のチューリップが芽を出してあなたを待っています～

写真・執筆: 福博: 花まち研究会会員 きむらみえこ(環境演出家®)

◆URCメディア紹介情報—最近2か月の情報を中心に—

◎新聞

(2018/2/18 南日本新聞 朝刊 20p)

スタジアム気運向上へ公演開催 鹿島サッカー協会
野田順康特別研究員が講師を務める。(◎印=以下同じ)

(2018/2/17 新潟日報 朝刊 12p)

新潟で現代アートの現状考えるシンポ 芸術祭乱立進むべき道
は 評論家や作家らが議論

市民研究員 OB 藤浩志さんが問題提起

(2018/2/15 南日本新聞 朝刊 28p)

みなみのカレンダー 講演:「サッカースタジアムを生かした街づくり」◎

(2018/2/1 日豪プレス)

2018年2月 ニュース/コミュニティ
シドニーフェスティバルに作品を出展した藤浩志さんのインタビュー予告記事

(2018/2/1 日本経済新聞 朝刊 37p)

九州 ヘルスクエア産業集まれ 福岡市、社会実験を支援 市民ら40人、ゲームを体験 /FDC が取り組む事業紹介 豊島徹浩ディレクターのコメントが紹介される。

(2018/1/30 毎日新聞 大阪朝刊 17p)

暮らしナビ・カルチャー:ホテルやアトリエ続々 大阪・此花区 アートと個性が集う下町

市民研究員 OB 藤浩志さんが「水都大阪 2009」に参加、滞在制作したことがアーティストの輪が広がるきっかけとなる。

(2018/1/27 新潟日報 朝刊 31p)

現代アートの行方は 新潟中央区でシンポ 8日
市民研究員 OB 藤浩志さんがパネリストを務めるシンポジウムの開催予告

(2018/1/25 秋田魁新聞 朝刊 23p)

<千秋公園のこれから>(8)[街との連携]回遊性高める工夫を
市民研究員 OB 藤浩志さんがコメント

(2018/1/23 毎日新聞 朝刊 25p)

LGBT 配慮の環境づくりを 博多 企業向けセミナー
FDC 原口唯さんがコメント

(2018/1/18 日本経済新聞 北陸 朝刊 8p)

先進地に学ぶ 2018 北陸 モデルあれば創業加速 九州大学

起業部 実務経験者招き土壌変革

URC の開業率データが引用される

(2018/1/16 毎日新聞 朝刊 25p)

福岡市博物館 スマホかざすと多言語解説 展示品前に二次元コード/柳基憲研究主査がコメント

(2018/1/16 読売新聞 鹿児島 朝刊 31p)

スタジアム活用 街づくり講演会 県サッカー協、来月17日◎

(2018/1/15 大分合同新聞 朝刊 6p)

ニュースを聞く 大分から世界へ 訪日外国人観光客 アジア太平洋学部・久保隆行准教授 「勝ち組」大分、観光立県へ地域間格差を解消し、高まる需要取り込め
久保隆行特別研究員が語る。

(2018/1/14 福井新聞 朝刊 2p)

再開発とリノベ 共存を 建築家・馬場さんら、福井でシンポ
URC・FDC OB 後藤太一さんがコメント

◎雑誌

(2018/2/24 日経ソフトウェア 2018.3 101p)

CEDEC+KYUSHU2017 レポート
AI の活用方法に注目集まる FUKUOKA ゲーム業界
中島賢一調整係長が行った講演内容が引用される。

(2018/1/1 Kyushu Marketing EYES 22~24p)

アジアと九州の今 福岡貿易会が中央アジアに行く ウズベキはアジアの楽園?編/URC OB 山本公平さんが連載執筆

(2018/2/1 月刊廃棄物 表紙: Kaeru System 2008)

(2018/1/1 月刊廃棄物 表紙: セントラルかえるステーション~なぜこんなにおもちゃが集まるのか?~ 2012)

市民研究員 OB 藤浩志さんの作品が採用される。

◎テレビ

(2018/2/28 RKB 毎日放送 今日感テレビ 18:50 頃)

天神ビッグバンについて 畠山尚久研究主査がコメント

◎ラジオ

(2018/1~2 毎週金曜日 18:00~18:25 ローカルラジオ放送コミュニティラジオ天神(コミてん))

スポガで Ready Bowl!! 市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。